

2026年度経済学部自己推薦入学試験要項

1. 募集人数

経済学部経済学科 10名

2. 出願資格

以下の(1)～(5)の要件をすべて満たす者。

- (1) 2025年に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者、および2026年3月に高等学校を卒業見込みの者。

【注】下記の者も(1)に準ずるものとします。

- a. 通常の課程による12年の学校教育を2025年に修了した者、および2026年3月31日までに修了見込みの者。
 - b. 外国において、学校教育における12年の課程を2025年に修了した者、および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - c. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年に修了した者、および2026年3月31日までに修了見込みの者。
 - d. 文部科学大臣の指定した者。
 - e. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験を2024年度・2025年度中に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに満18歳に達するもの。
 - f. その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2026年3月31日までに満18歳に達するもの。
- ※出願資格b～fの対象者は、出願資格の確認が必要となりますので、2025年8月1日(金)までに経済学部（今出川キャンパス教務センター）へ詳細をお問い合わせください。

- (2) 同志社大学経済学部で学ぶことを強く希望する者。

- (3) 高等学校の全体の学習成績の状況が3.4以上の者。

*「学習成績の状況」については、高等学校卒業見込みの者は第3学年1学期（または前期）まで、卒業した者は第3学年修了時までのものとします。2学期制の高等学校においては、第3学年前期までのものの提出が不可能な場合は、前期中間までのもの、それが不可能な場合は、第2学年までのものとします。

- (4) 以下のいずれかの試験を受験し、そのスコアカード（原本）または合格証明書（原本）により英語能力を証明することができる者。

- ・実用英語技能検定（英検）
- ・GTEC（4技能）またはGTEC-CBT
- ・TOEIC® LISTENING AND READINGテスト
- ・IELTS（アカデミック・モジュール）
- ・TOEFL iBT®テスト（Home Edition（旧TOEFL iBT® Special Home Edition）は不可）

- (5) 以下のいずれかに該当する者（活動成果についてはガイドラインを参照すること）。

A. 高等学校の課外活動

- 1) スポーツ活動において優れた成績をあげた者、または著しいリーダーシップを発揮した者。
- 2) 文化活動などにおいて優れた業績を修めた者、または著しいリーダーシップを発揮した者。

B. 社会活動などで献身的で指導的な役割を果たした者。

C. その他個人的研鑽において特に著しい成果を修めた者。

<ガイドライン>

スポーツ活動の場合

- ・日本代表クラス
 - ・全国大会で個人種目ベスト16以上、団体種目ベスト8以上
 - *個人種目については参加者数が32名以上の大会における実績であること。
 - *団体種目については参加チーム数が16チーム以上の大会における実績であること。
 - ・全国大会出場かつ主将または部長
 - ・全国大会出場かつ地域功労賞などの表彰を受賞した者
 - ・地区大会優勝（個人種目または団体種目）で、国スポ・国体などの代表候補・優秀選手などの指定を受けた者
- 文化活動、社会活動、個人的研鑽においては、上で示したスポーツ活動の場合に準じた成果とみなされる活動であること。

なお、資格取得や検定試験合格だけでは、出願は認めない。

「(5)以下のいずれかに該当する者（活動成果についてはガイドラインを参照すること）。」について、新型コロナウイルス感染症の影響により各種大会が中止・延期となった場合は、以下の基準を参照すること。

<新型コロナウイルス感染症により各種大会が中止・延期になった場合の基準>

- ・世界大会が中止もしくは延期になった場合、その世界大会への出場資格をすでに有していたものは日本代表クラスと同等とみなす。
- ・全国大会が中止もしくは延期になった場合、その全国大会への出場資格をすでに有していたものは全国大会出場と同等とみなす。
- ・全国大会が開催されないことが事前に決まっている場合でも、本来優勝等によって全国大会への出場権が与えられる地方大会等が開催される場合は、その優勝を以って全国大会出場と同等とみなす。
- ・文化活動、社会活動、個人的研鑽においても、上記に準じる。

なお、上記の基準に該当する者として出願する場合は、過去（高校入学以降）の成績・業績についても参考とするため、主な成績・業績のうち、上位2つ以内について客観的な資料（以下「4. 出願書類」の（4）参照）も提出すること。それらを含め提出された書類にもとづき厳正に選考を行う。

3. 選 考 方 法

- (1) **第1次選考（書類選考）**
出願書類にもとづき書類選考を行います。
- (2) **第2次選考（第1次選考合格者のみ）**
筆記試験（小論文）、面接を実施し、出願書類とあわせて総合的に判断し、合格者を選抜します。

4. 出 願 書 類

- (1) **出願確認票** インターネット出願サイトで出願登録後、入学検定料を納入すると印刷できます（詳細は77ページ「インターネット出願手順」を参照）。
- (2) **調査書**（出身学校長が証明し、厳封したもの）
高等学校第3学年第1学期末まで（2学期制の高等学校は第3学年前期末、卒業者については高等学校卒業時）の学習成績等について記載したもの。2学期制の高等学校において、第3学年前期までのものの提出が不可能な場合は、前期中間まで記載したもの。それが不可能な場合は、第2学年まで記載したもの。
- (3) **志望理由書**（ホームページからダウンロードした本学所定の様式を用いて本人が作成したもの）
- (4) **活動成果を客観的に証明する資料**（ホームページからダウンロードした本学所定の様式）
※新型コロナウイルス感染症により各種大会が中止・延期になった場合の基準に該当する者として出願する場合に提出が必要な資料
 - ・志願者本人の出場記録等がわかるもの
 - ・中止となった全国大会等への出場が決定していた場合はそれを証明する書類
 - ・出場が決定していた全国大会等が開催されない場合は出場を予定していた全国大会等の概要（当該大会等の開催要項等）及び当該大会等が中止となったことを示す資料
- (5) **英語能力を証明する書類**
下表に示した試験から、いずれか1種類の各種英語資格試験のスコアカード（原本）または合格証明書（原本）を提出すること。コピーは不可とする。また、各種英語資格試験のスコアカード（原本）または合格証明書（原本）を関係機関から本学に直送された場合は受理できないので注意すること。なお、スコアカード（原本）の返却については「9. その他注意事項」を参照すること。

試験の種類	提出書類	注意事項
実用英語技能検定（英検）	合格証明書（原本） コピーは不可	従来型英検、英検S-CBT、英検S-Interviewを対象とするが、合格証明書（原本）の提出が必要となる（スコアカードおよびデジタル証明書は不可）。
GTEC（4技能）またはGTEC-CBT	スコアカード（原本） コピーは不可	オフィシャルスコアに限る。
TOEIC® LISTENING AND READINGテスト		TOEIC® LISTENING AND READINGテスト（IP）は不可。TOEIC® LISTENING AND READINGテストのスコアを利用する場合、公式認定証（Official Score Certificate）の原本を提出してください（デジタル公式認定証を用いての出願は認めません）。なお、公式認定証とは、試験実施団体（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）が発行する紙の認定証を指します。発行方法は、試験実施団体にお問い合わせください。
TOEFL iBT®テスト		・ Home Edition（旧TOEFL iBT®Special Home Edition）は不可。 ・ TOEFL ITP®テストは不可。また、「Test Dateスコア」のみを可とする（「MyBest™スコア」は不可）。
IELTS（アカデミック・モジュール）		・ IELTS コンピューター版（旧：CD IELTS）、IELTS for UKVIを含む。 ・ IELTSオンライン版（IELTS Online）は不可。 ・ One Skill Retakeを利用したスコアは不可。 ・ IELTSコンピューター版のスコアを利用する場合、IELTS試験実施団体が発行する、紙の Test Report Form（Centre stampが押されているもの）を提出してください（eTRFを用いての出願は認めません）。発行方法は、試験実施団体にお問い合わせください。

上記の各種英語資格試験については、2023年4月以降に受験し、取得した成績（スコア）に限ります。

- (6) **志願者紹介状**（ホームページからダウンロードした本学所定の様式）
志願者本人の活動についてもっとも理解している者（高等学校関係者に限定しません）1名が記載したもの。